

平成28年度
共生型地域福祉拠点推進セミナー
in ESASHI

～地域のコミュニティーサロンをめざして～

北広島 ふれあいステーションほと の取組

BOYS BE AMBITIOUS

北広島市の概要

- ▶ 人口 59,173人 世帯 27,102世帯(10/31)
- ▶ 1884年広島県からの入植者によって開墾
- ▶ 寒地稲作発祥の地



◎高齢化率 約29%

◎障がい手帳所持者 約6%

いま、北広島が熱い！



社福) 北ひろしま福祉会

- 1949年 知的障がい児入所施設として広島村富ヶ岡に開設(定員65名)
- 1970年 道営北広島団地の造成により移転改築
- 2011年 法人本部を現在地に移転
- 2013年 共生型事業開始
- 2014年 介護保険事業開始

◎運営する事業

障がい～入所施設2か所、多機能型通所施設3か所、GH17か所、福祉ホーム2か所、居宅介護等事業1か所、相談支援1か所、訪問型職場適応援助1か所、介護～特養1か所、デイサービス1か所、ケアプラン1か所

職員数約380人



なぜ、共生型事業

- ▶ 法人本部を「町」へ移転
- ▶ ここは、元々医療機関（充実したリハビリ施設）
町行く高齢市民からの一言
“ここはもう、私たちは使えないんだよね”
- ▶ 隣接町内会との懇談会



地域のコミュニティーづくり

- ▶ 運営は地域住民を組織した運営委員会
8名でスタート。現在24名。
- ▶ “ほっと”は町の社会資源
⇒障がい福祉サービス、介護保険サービスと切り離れた
委員会主体の事業運営。
法人は建物などの維持管理やサポート
- ▶ できることから始めよう！
走りながら考えよう！



設備概要

整備年度/平成24年度(地域福祉・福祉空間交付金)

■鉄骨造/3階建 ■延床面積/631.48㎡

■仕様/バリアフリー、鏡張りスタジオ、トレーニングマシン、シャワー、キッチン、エレベーター、身障トイレ



運営委員会の活動状況～ 1

▶ 1. 委員の構成

近隣町内会役員、地域福祉に関心のある方、サークル活動代表、元教員等 事務局は法人職員1名～すべて無償ボランティアとして活動する26歳から86歳 約7割が65歳以上で構成～

▶ 2. 運営委員会(決定機関)

月1回月末に開催。事業の成果、課題の整理、翌月の事業確認など。



運営委員会の活動状況～2

▶ 3. 活動内容

①施設、設備の管理

(窓口受付、貸室使用許可と料金徴収など)

②交流サロン型事業の実施

(憩いの場の設置、トレーニング、お茶会など)

③共生サービス提供事業の実施

(3つの寺子屋事業と、介護・健康講座など)

④他団体との連携事業

(ほっとまつり、市民の郷まつり、大学の出前講座)

⑤事業等の啓蒙、啓発

(通信の定期発行、ポスター掲示、ポスティングなど)



事業推進に対する考え方

- ▶ 年間25の事業のうちシリーズ11事業 単発14事業
 - ・運営委員のもつ経験や技術を活かしたもの
 - ・地域の人材活用と高齢者の生活支援、多世代交流
 - ▶ 主催事業で大切にしていること
 - ・無理なく、楽しむ
 - ・成果と課題の確認
 - ・発表の場
 - ▶ 集まってくる工夫
 - ・決まった曜日、決まった時間の開催
 - ・人数では無い。一人でも良いという意見があれば成功
 - ・日常的に集まれる場の設定
-



来場者・住民周知



The image shows two monthly event calendars. The left one is for November (11月予定表) and the right one is for December (12月予定表). Both calendars have columns for dates and events, with many handwritten entries and colorful stickers.

11月も予定表には
空白が無い

町内会を通じて
毎月発行される
「ほっと通信」は
今月で43号



交流サロン型事業



仲間とトレーニング



親子でトレーニング(中央の男性92歳要支1)



お茶やお菓子を持ち込みながら趣味の手芸



チョットひと息ティータイム

共生サービス提供事業（こどもの寺子屋事業）



退職教員が中心になって開講する寺子屋



児童生徒対象の防犯講座



共生サービス提供事業（みんなの寺子屋事業）



▶ 卓球講座(週1回)



そば打ち講座(月1回)



▶ 絵手紙講座(月1回)



ストレッチング講座(月2回)



共生サービス提供事業（みんなの寺子屋事業）



市内在住の方によるコンサート、演芸会



箏曲に親しむワークショップ（月2回）



小物制作教室作品（月1回）

共生サービス提供事業

(大人の寺子屋事業)



最近の葬儀事情



エンディングノートと遺言



薬剤師による認知症と薬講座



飛び出すほっと 介護施設見学会

共生サービス提供事業

(大人の寺子屋事業)



入門日本酒学(年1回定期開催)



高齢者パソコン講座(年2回)



▶ トレーニングマシン講習会



高齢者防犯教室(厚別警察)



麻雀教室(月2回)



共生サービス提供事業（介護・健康講座）



介護講座（隔月）



PT・OTによる身体イキイキ西島講座（隔月）



石狩振興局・ほっと主催事業 こども・高齢者・障がい者が集う参加型他団体との連携事業 ほっとまつり2016



他団体との連携事業



北星学園大学出前講座



市民の郷まつり



ほっとまつり2015



ほっとまつり2015



ほっとまつり2015



ほっとまつり2015



来場者統計

	サロン型 個人利用	団体利用			合計	開所日数	1日当たり 利用者数
		グループ数	人数	うち主催 (寺子屋)			
25年度計	1,169	11	3,914	1,179(723)	5,083	244	20.8
26年度計	696	18	5,483	1,704 (842)	6,179	234	26.4
27年度計	630	21	5,576	1,760(585)	6,206	228	27.2
28年4月	62	17	401	193(31)	463	18	25.7
5月	45	17	422	151(34)	467	19	25.1
6月	34	16	402	182(48)	436	20	21.8
7月	70	18	505	220(62)	575	24	24
8月	38	18	504	171(50)	542	18	30.1
9月	54	20	651	303(51)	705	20	35.1
10月	46	22	770	253(59)	816	21	38.9
28年度計	349	23	3,655	1473(335)	4,004	140	28.6

運営上の成果と課題

成果

- ◎運営委員が地域の課題を吸い上げ事業化
 - ・運営委員のやり甲斐、役立っていることを感じている
- ◎活動を通じ地域の方の社会資源になっている
 - ・障がいのある方を活動の中で支え合う
 - ・高学年が低学年の児童の手伝いをする
 - ・利用される方の発表の場
- ◎シリーズ化した講座にも興味を示している
 - ・引きこもり防止、仲間との交流促進、新たな出会い
 - ・健康状況の変化



運営上の成果と課題

課題

◎ 拠出金やカンパ、使用料だけでは自走に限界

収入 10月末 223,152円

- 使用料等(貸室～78,350 使用料～30,100 物販手数料～8,490
お茶の間事業助成金～64,000 カンパ/行事売上/利息～42,212)

* 地域貢献活動拠出金(法人から開所時に拠出 4月期首残184,124)

支出 10月末 189,299円

- 事業費(行事消耗品費10,446)
- 事務費(光熱水費、マシン修理費、ボランティア保険など177,033)

◎ マンパワーの確保(現在24名)

◎ 事業同士を結び付け地域住民への定着を図るには

◎ 事業の工夫改善



今後の展望

- ◎これからの社会に、地域コミュニティーは必要不可欠
地域に根差した社会資源としての役割を果たす
楽しさと生きがいの追求
町づくりは人づくりから
目的と役割を持った住民参加型
互助ショップ萬屋としての機能(ワンストップサービス)

- ◎高齢者健康(体育)大学の開設
ほととの持つ設備と地域のマンパワーを活用



ご清聴ありがとうございました



ふれあいステーションほっと運営委員会